



Elémentaire Leçon16-2 (初級 16-2)

Nous avons été invités par elle. (私たちは彼女に招待されました 16-2)



L'objectif de cette leçon (このレッスンの目的)

- ・【強調構文】について学習します。
- ・単語学習では、【体の一部を表す単語】について学習します。

Partie 1 ~ La conversation (会話) ~

※Révisions de la partie 1 de l'élémentaire 16(初級 16、会話の復習)

講師が「★1 (lisez étoile un)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。
(先に講師が読む場合があります。その場合は、講師の発音をしっかり聞き、リピートしましょう。)

- Robert : ★1 *C'est avec Sophie que tu parlais au téléphone?*
- Carole : ★2 *Oui. En fait nous avons été invités par elle.*
- Robert : ★3 *C'est sympa!*
- Carole : ★4 *Maiko, tu as quelque chose demain soir?*
Si tu veux, tu pourras venir chez elle avec nous.
- Maiko : ★5 *Avec plaisir!*
- Carole : ★6 *Elle fait bien la cuisine, tu vas te régaler.*
- Maiko : ★7 *J'attends ça avec plaisir. J'adore la nourriture française!*

Robert: 君が電話で話していたのはソフィーかい？
Carole: そうよ。実はソフィーのお家に招待されたの。
Robert: いいね！
Carole: マイコ、明日の夜は予定ある？
もし良ければ、私の妹のソフィーのお家に一緒に行きましょう。
Maiko: 喜んで！
Carole: 彼女は料理上手なの、おなかいっぱい食べられるわよ。
(=ごちそうを食べられるでしょう。)
Maiko: 楽しみだな。私、フランスの食べ物大好きなの。

Partie2 ~ Grammaire (文法) ~

【強調構文】について学習します。

文法に関する説明は、事前に読んで学習し理解しておきましょう。

講師が「★8 (lisez, étoile,huit)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。
その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。

強調構文

「～したのは A です。」と A を強調したい場合、C'est もしくは Ce sont 構文を用いて表現します。

※A が単数の場合は C'est 構文、A が複数の場合は Ce sont 構文が使われます。

※A が人称代名詞の場合は、強調人称代名詞が使われます。

(C'est(Ce sont)構文と強調人称代名詞については初級 2 参照。)

●A が主語の場合

C'est(または Ce sont) + A(主語) + qui + ~

例: ★8 Il m'a prêté ces livres. (彼は私にその本を貸した。)

→★9 C'est lui qui m'a prêté ces livres. (私にその本を貸したのは彼です。)

例: ★10 Mes parents ont envoyé ce colis à mes enfants. (私の両親は私の子供たちにその小包を送った。)

→★11 Ce sont mes parents qui ont envoyé ce colis à mes enfants

(私の子供たちにその小包を送ったのは私の両親です。)

●A が直接目的語の場合

C'est(または Ce sont) + A(直接目的語) + que + ~

※que の後に導かれる節の動詞が複合過去の場合、過去分詞の性数は直接目的語に一致します。

例: ★12 J'ai acheté des glaces tout à l'heure. (私はさっきアイスを買いました)

→★13 Ce sont des glaces que j'ai achetées tout à l'heure. (私がさっき買ったのはアイスです。)

例: ★14 Je peux réparer des chaussures. (私は靴を修理できます。)

→★15 Ce sont des chaussures que je peux réparer. (私が修理できるのは靴です。)

例: ★16 Il appelle Robert. (彼はロベールに電話しています。)

→★17 C'est Robert qu'il appelle. (彼が電話しているのは、ロベールです。)

●A が間接目的語や状況補語の場合

C'est(または Ce sont) + <<前置詞+A>>(間接目的語・状況補語) + que + ~

※但し、前置詞が de の場合は、C'est + A + dont + ~ となります。

例: ★18 Nous sommes venus en autobus. (私たちはバスで来ました。)

→★19 C'est en autobus que nous sommes venus. (私たちが(乗って)来たのはバスです。)

例: ★20 Je leur ai écrit une lettre. (私は彼らに手紙を書きました。)

→★21 C'est à eux que j'ai écrit une lettre. (私が手紙を書いたのは、彼らです。)

例: ★22 Nous avons parlé de la maison hier. (昨日私たちはその家について話していました。)

→★23 C'est la maison dont nous avons parlé hier. (昨日私たちが話していたのは、その家のことです。)

★24 【練習問題～Exercices～】

講師が強調したい部分をわかりやすく強めに発音しますので、強調構文を用いて言い換えましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例: (講師) Il appelle **Robert** → (生徒) C'est Robert qu'il appelle.

Partie3 ~ Leçon de vocabulaire (単語学習) ~

体の一部を表す単語を覚えましょう！



★25 les sourcils (眉毛)

★26 les cils (睫毛)

★27 l'œil (片目)、

★28 les yeux (両目)

★29 les oreilles (耳)

★30 les joues (頬)

★31 le nez (鼻)

★32 la bouche (口)

★33 la langue (舌)

★34 les dents (歯)

★35 【練習問題～Exercices～】

講師が講師の体の一部を指して「これは何ですか？」と質問しますので、答えてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例: (講師) (片目を指して) Comment cela s'appelle-t-il? → (生徒) C'est l'œil.

Partie4 ~ Exercices (練習問題) ~

A : 以下の日本語を、フランス語にして読みましょう。講師が *écrivez* と言った場合は、チャットにスペルを記入しましょう。

- ★36 昨日私たちが話していたのは、この映画のことです。
- ★37 彼女が修復したのが、この絵だよ。
※絵 un tableau ※修復 restaurer (過去分詞 restauré)
- ★38 昨日の夕飯を作ってくれたのは、私のお父さんです。 ※夕食を作る→夕食を用意する
- ★39 私の娘が書いていたのは、私の母への手紙です。
- ★40 私たちに日本の歴史を教えてくれたのは Smith 先生です。
※Smith 先生 Monsieur Smith ※教える enseigner ※歴史学 histoire
- ★41 学生時代、僕が勉強していたのはフランス語と数学です。
※勉強する étudier ※数学 les mathématiques

- ★42 B: 講師がこれからフランス語で質問します。フランス語で答えてみましょう。
※難しい場合は *écrivez* と言い、チャットに記入された文を見ながら考えてみましょう。

- ★43 C: 講師がこれから言う単語や文章を聞き取り、チャットに書いてください。講師が正解とつづりをチェックします。